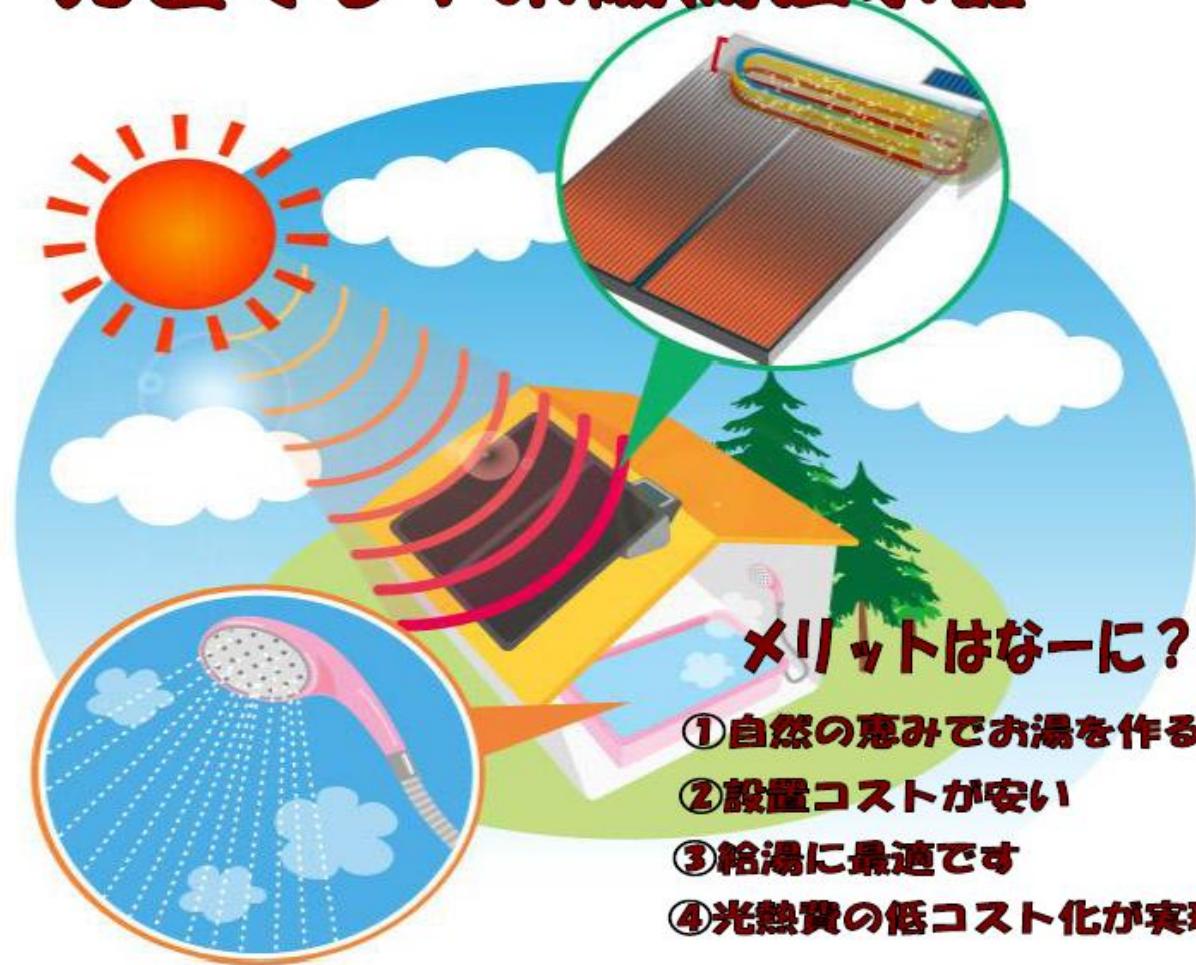


# 見直そう！太陽熱温水器

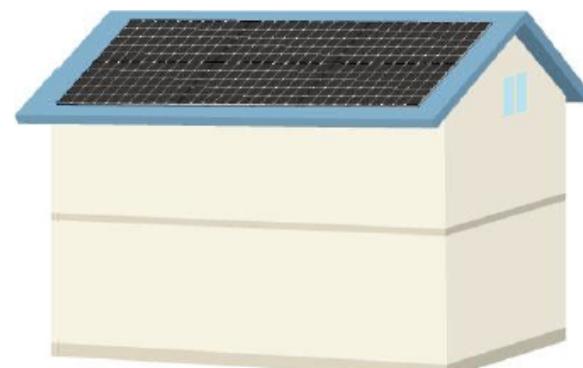
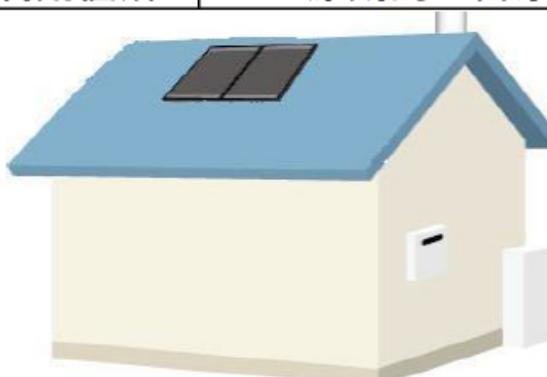


- メリットはなーに？
- ①自然の恵みでお湯を作る
  - ②設置コストが安い
  - ③給湯に最適です
  - ④光熱費の低コスト化が実現

## 太陽熱利用システムと太陽光発電の特徴

●太陽熱は小さな面積で住宅の給湯負荷の40～50%程度を賄える。

	太陽熱利用	太陽光発電
設置面積	4～6m <sup>2</sup>	20～30m <sup>2</sup>
効率	集熱効率40～50%	発電効率10～15%
年間出力	集熱量6～11GJ (1700～3000kW <sub>th</sub> h)	発電量3000～4000kWh
価格	<b>30～90万円</b>	<b>120～200万円</b>
用途	給湯、暖房(冷房)	家電機器など
利用個所	原則的に自家消費	余った電気は売電が可能



# 太陽エネルギーの概念



太陽

- ① 地球に到達するエネルギーの総量は、1時間で世界の年間エネルギー消費量に匹敵します。
- ② クリーンでCO<sub>2</sub>やNO<sub>X</sub>、SO<sub>X</sub>を出しません。

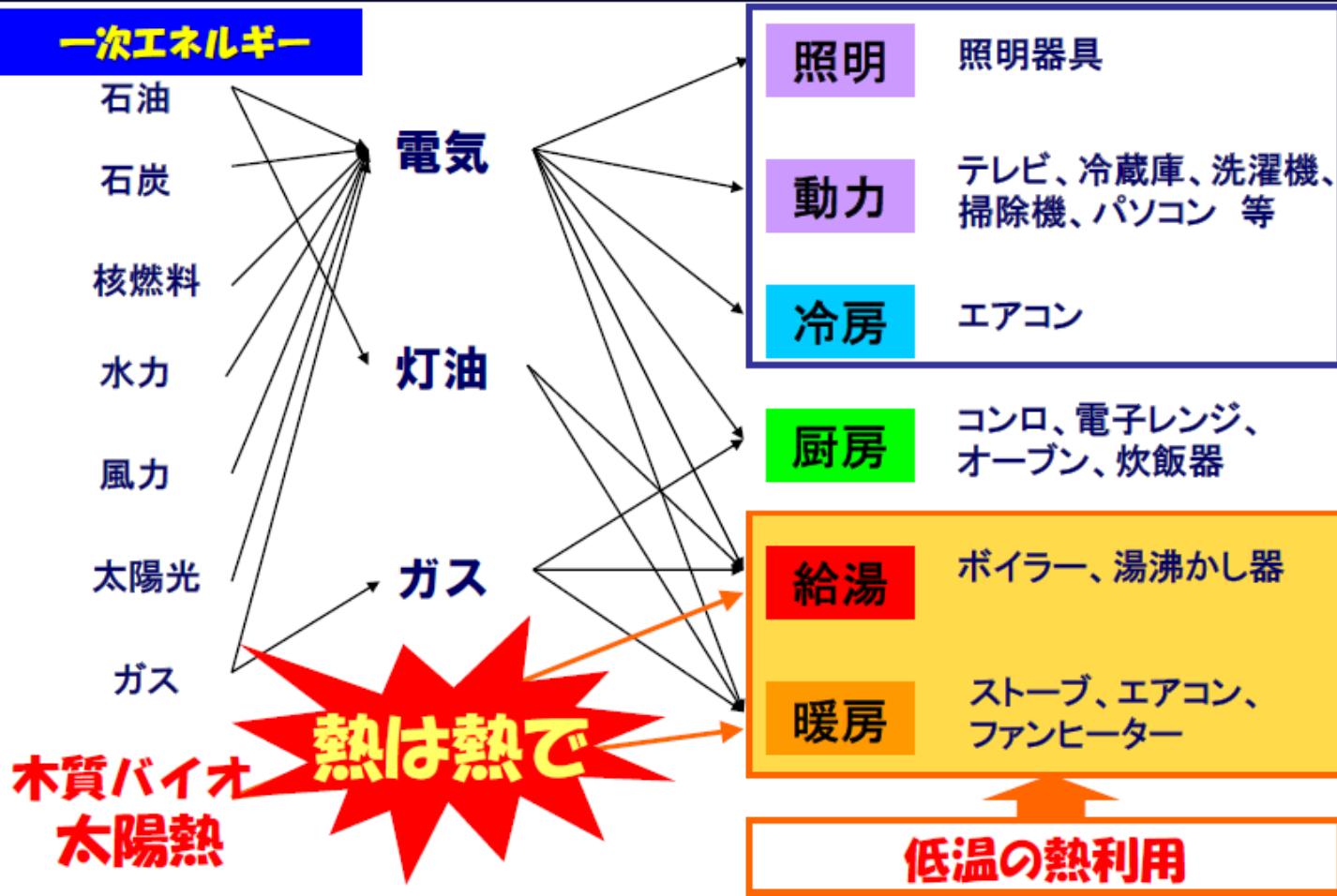
6

## 太陽のパッシブとアクティブ利用



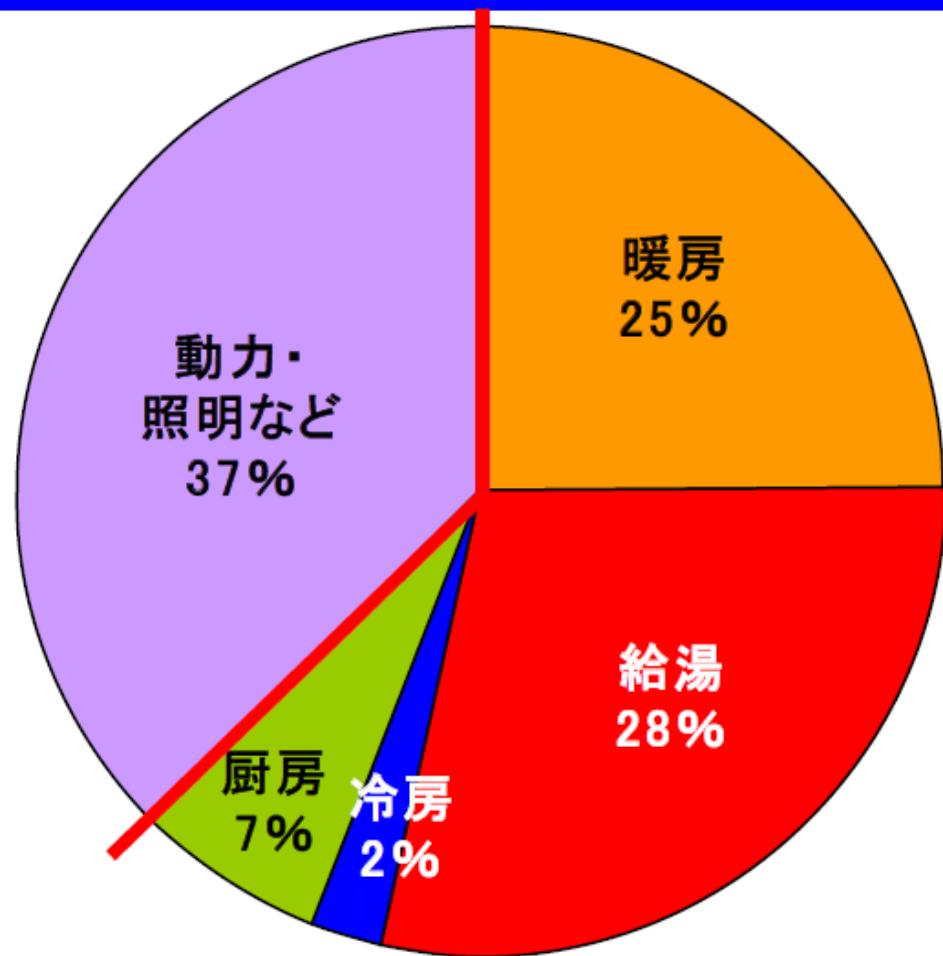
東京都環境局ホームページより抜粋

# 家庭のエネルギーの適材適所を考える



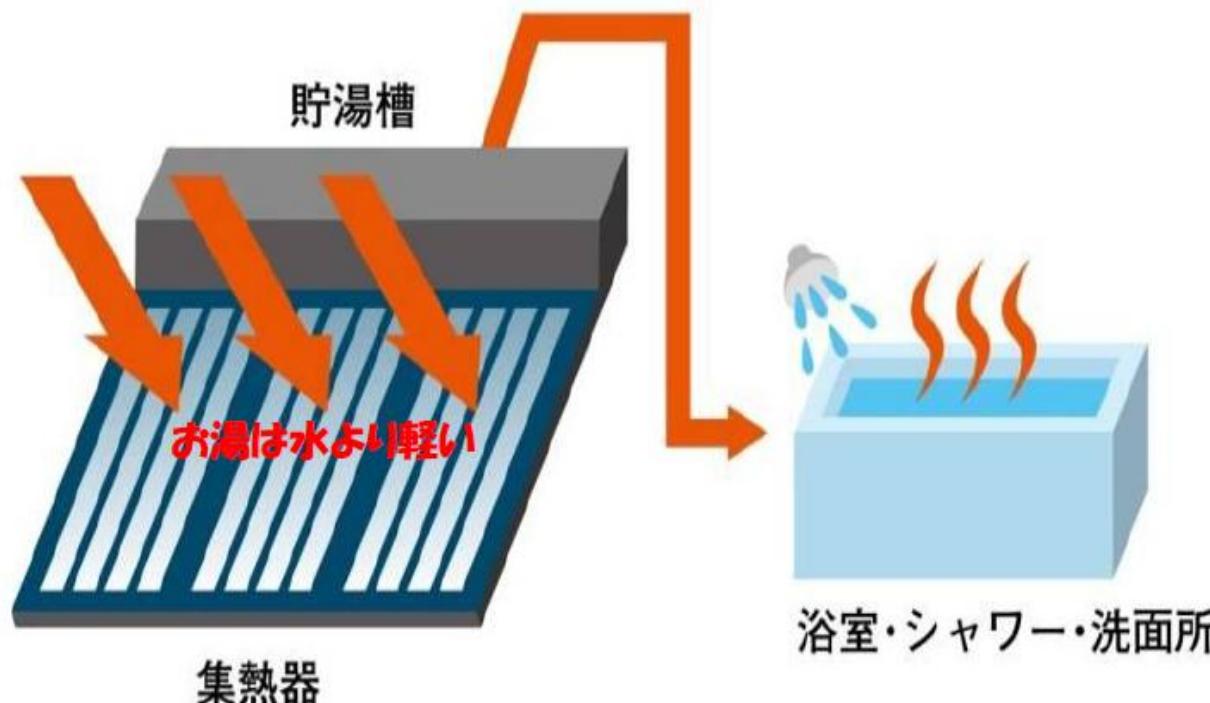
18

## 家庭で消費されるエネルギーの6割が熱用途



19

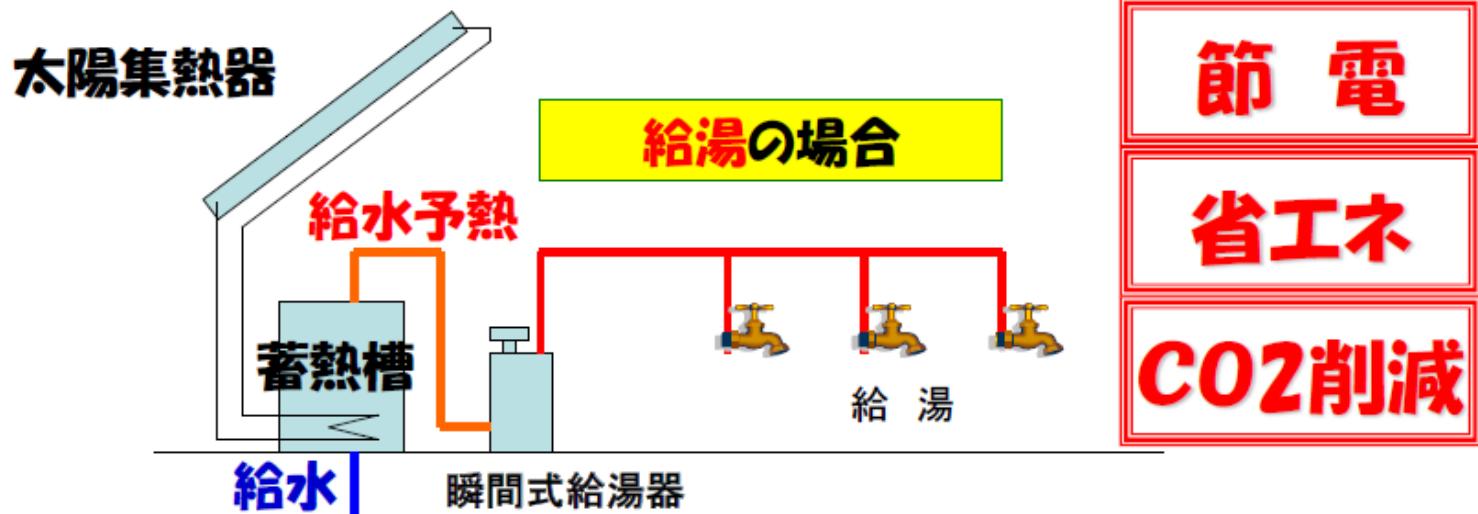
# 太陽熱温水器(自然循環形)



「お湯は水より軽い」という自然の摂理を利用して太陽の熱で水を温める自然循環形の蓄熱式の温水器です。太陽エネルギーの40~50%を熱として利用できるなど高いエネルギー変換効率や、自然の摂理は壊れないのでメンテ不要などの費用対効果の良さが特徴です。

12

## 太陽熱利用システム導入の効能



節電

省エネ

CO<sub>2</sub>削減

給水を太陽熱で予熱した後、瞬間給湯機で温めるシステム。熱源を電気に依存しないので「節電」が行われ、予熱したエネルギー相当の化石燃料が温存されて「省エネ」、予熱相当分の化石燃料が燃焼しないので「CO<sub>2</sub>削減」が行われます。これにより「節電・省エネ・CO<sub>2</sub>削減」の三拍子が整います。

# 最近の日本の太陽熱の現状 給湯、冷暖房



浜松プレスター(太陽熱冷房)



集熱器78枚 156m<sup>2</sup>

特別養護老人ホーム 桜ヶ丘荘(給湯)



太陽電池と併用(給湯)



太陽熱温水器



空気集熱式(暖房給湯)

41

## 仮設住宅でも太陽熱温水器が大活躍



岩手県気仙郡住田町多田町長

# 中国の太陽熱の現状

多くの太陽熱温水器が設置されているが、安全面や美観で課題が多い  
集合住宅の屋上に設置した太陽熱機器



中国は集合住宅が多く、このような設置が多い



屋上に設置したソーラーシステム



バルコニー設置 39

# ドイツの太陽熱の現状

●ドイツは住宅にうまく太陽熱利用機器が取り込まれている

集合住宅の太陽熱利用(壁面設置)



- 1)集合住宅:17階、171戸
- 2)壁面集熱:集熱面積252m<sup>2</sup>
- 3)蓄熱槽3.5t × 3台
- 4)集熱器のガラス厚さ8mm



庇に設置した集熱器



壁面設置の集熱器